



見回り活動中の出石さん（写真右）。「皆さんの元気な姿を見るのが何よりです」とにっこり。

心を通わせるやりとりの積み重ねが、信頼の積み重ねにつながると思います。



自分の担当地域を示す出石さん。「ここ数年で、空き家や介護施設へ入所する人がかなり増えたと感じます」。

でも月に2回、心配な世帯があればそれよりも多く見回りをするように心掛けていくとのこと。その理由を、出石さんはこう語ります。「何かあってから『どうしましたか』とか、唐突に家を訪問して『何か変わったことはありますか』とたずねても、その家の人は言うわけがありません。定期的な訪問して、声かけなど心を通わせるやりとりを積み重ねることと、信頼も積み重ねられるのだと思います。その結果、ちょっとした時に悩みや困りごとを打ち明けてくれるようになるのではないのでしょうか。皆さん一人一人がいろいろな事情を抱えていて、一人ではどうすることもできないような場合もあります。そういった時に頼ってもらえるのであれば、その人にとっていい方向に向かうように、できる限りのことはしたいですね」。

出石 勝彌さんは、江田島町秋月地区の一部を担当する民生委員児童委員。月に2、3回、同地区での見回り活動をしています。担当区域の世帯数は約140世帯で、そのうち65歳以上の一人暮らし世帯（約30世帯）を中心に訪問しています。

訪問先では「元気かいね？まだまだ暑いから、ちゃんと水分をとってね」「暑かったらエアコンをつけてね」と声をかけると、「ぼちぼちじゃねえ」「今度〇〇へ2週間入院するんよ」などの返事が返ってきた。出石さんは「誰がどんな状態なのかを知っておくことは重要です。そうすれば、災害などの緊急時に『〇〇さんが家にいない・どうなっているか誰も知らない』ということはありません。ですから、担当地域の人の現状はできるだけ正確に把握するよう努力し、一覧表を作って整理しています」と言います。

この日は約1時間30分かけて、15世帯あまりに立ち寄りしました。最低



# 民生委員児童委員



研修会の冒頭で、民生委員児童委員信条を朗読する委員の皆さん。

「民生委員児童委員」。この言葉を聞いたことはあっても、どのようなことをしているのか知らない人もいるのではないのでしょうか。そこで今回は、民生委員児童委員に焦点を当て、その活動内容などを紹介します。

（問）社会福祉課

☎（40）3177代

## 民生委員児童委員信条

- 一、 わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、 わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、 わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、 わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、 わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

## 民生委員児童委員とは

誰もが安心して、住み慣れた地域で暮らすことができるよう、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援を行うボランティアです。

### 主な活動内容

一人暮らしや寝たきりの高齢者、障害者（児）、母子、児童問題などに関する相談対応や扶養などの事実認定、各種制度の手続き指導など、地域に密着した活動を行っています。また、夜間の安全パトロールや高齢者訪問、一人暮らしの高齢者への給食作りなどを行っている地域もあります。

委員は地域の住民の中から選ばれます

委員は市が設置する民生委員推薦会で住民の皆さんの中から選ばれ、厚生労働大臣が委嘱（任命）します。任期は3年で、本市では来年が改選の年に当たります。また、委員になるための特別な資格は必要ありませんが、原則として

75歳未満という条件があります。

### 委員の身分

民生委員児童委員は、非常勤の特別職の地方公務員です。給与（報酬）は支給されず、実費弁償として活動費が支給されています。

児童福祉を専門にする主任児童委員がいます

民生委員児童委員の中から、児童福祉に関する問題を専門的に担当する主任児童委員が配置されています。主任児童委員は担当の民生委員児童委員と一緒に、児童の健全育成や子育て支援のための活動などを行っています。

市内には103人の委員がいます

9月1日現在、市内には95人の民生委員児童委員と8人の主任児童委員がいます。民生委員児童委員1人当たりで平均約140世帯を担当していることとなります。